

## 組立設置・取扱説明書

### お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てるにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

### 施工業者様へ

お客様の安全のため据置場所の強度には、本機の荷重に耐えるよう十分ご注意ください。

- 設置後は、この説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しください。

## DT-100



### もくじ

安全上のご注意	2~4
仕様	5
部品の確認	6~7
オプション	7
別途ご用意いただくもの	7
ねじ締付トルクについて	7
組立要領	8~20
1. 右回転取付方法	8~12
2. 左回転取付方法	13~17
3. 共通取付方法	18~20
保証書	20

- この組立設置説明書と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

## 安全上のご注意

### 安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



#### 警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

## 警告



#### 本製品にぶら下がる、揺らす、もたれかかる、乗るなどしない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### ディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けない

ディスプレイの故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### 水平でない場所、段差があるなど不安定な場所に設置しない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### 直射日光の当たる場所、及び高温多湿の場所で使用しない

変色や変形の原因となるだけでなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



#### 屋外で使用しない

変色や変形の原因となるだけでなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

## 警告



### 設置作業は必ず二人以上で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### ご使用前は、接続部及びねじ部に緩みが無いが再度確認する

ねじが緩んだままでのご使用は、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 設置後は、接続部及びねじ部に緩みが無いが定期点検をする

#### 緩んでいた場合は確実に締め付ける

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 修理が必要な場合は、直ちに使用をやめる

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。修理が必要な場合は、「コンタクトセンター」まで連絡ください。



### 地震など強い揺れを感じた場合は本製品に近づかない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 地震など強い揺れを感じた場合は本製品の背面側には近づかない

強い揺れが発生した場合、本製品はキャスターロックのない背面側に移動する可能性がありますので背面側には近づかないでください。



### 本製品脚部周辺に段差となるようなケーブル、カーペット等の障害物を置かない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

 **警告**



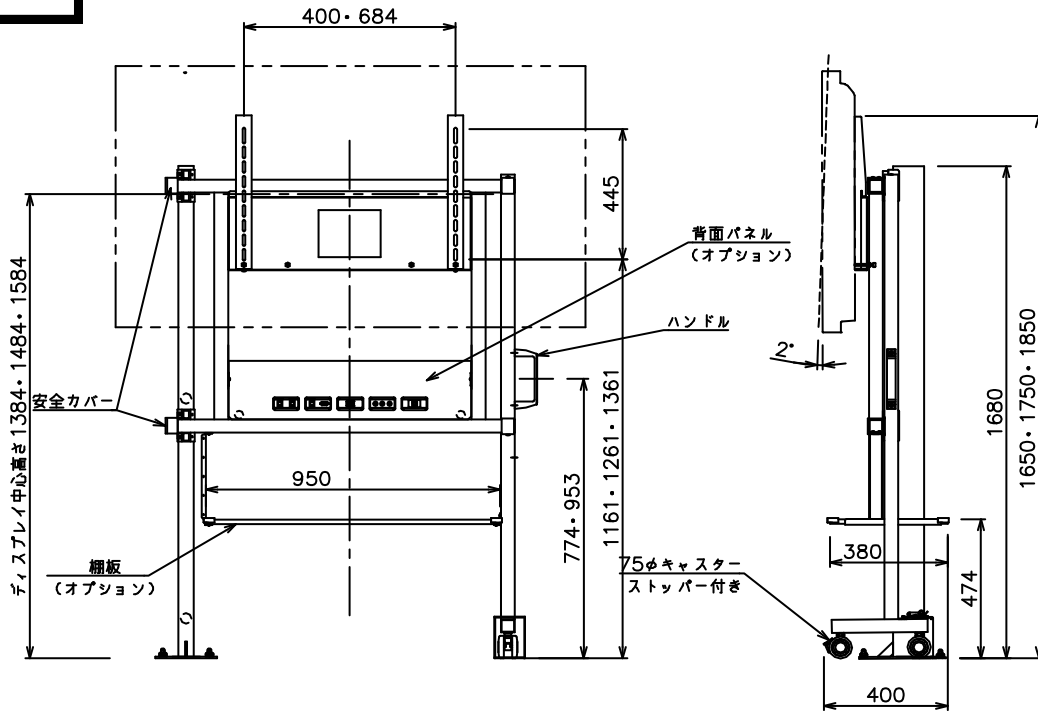
**棚板にぶら下がったり、乗ったり、棚板の搭載質量以上の負荷をかけない**  
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



**搭載質量以上のものを搭載しない**

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

# 仕様



型式	DT-100
塗装色	ホワイト(日塗工 N-93 相当)
本体質量	約 40 kg
搭載質量	ディスプレイ取付部 : 60kg 以下
対応ディスプレイ	50 型~70 型(W400×H200~445、W684×H200~445) ※
回転 (左右)	約 45°
ディスプレイ角度調整	+2°
高さ調整 (ディスプレイ中心)	3 段階、200mm (100mm ピッチ)
ハンドル高さ	774・953 (2 段階)
キャスター	φ75 ストッパー付き×1、φ75 ストッパーなし×1
オプション	コントロールパネル (D-P01) 棚板 (D-T04) 4 口電源タップマグネット付き (D-D01)

※一部対応出来ないディスプレイがあります。

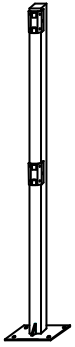


- ※ 搭載質量以上のものを搭載すると、機器の破損、怪我をする恐れがあります。搭載物の質量を確認のうえ搭載してください。
- ※ 不安定な場所に設置しないでください。
- ※ ディスプレイを取り付ける前に、ディスプレイ端子部が本製品と重ならないか御確認ください。重なっていると、配線が困難になりディスプレイのご使用ができなくなります。

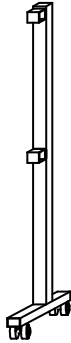
## 部品の確認

■組み立ての前に必ず確認ください。

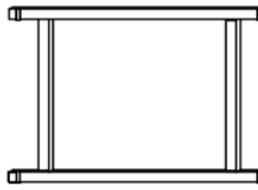
メインフレーム×1



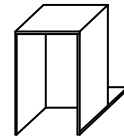
回転フレーム×1



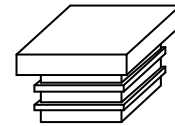
枠フレーム×1



キャスターストッパー×1



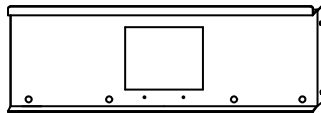
樹脂キャップ×4



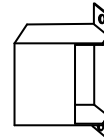
ディスプレイ取付金具×2



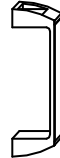
ブラケット ×1



指詰め防止カバー×2



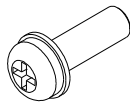
ハンドル×1



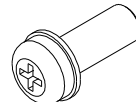
ばね座金 A ×2  
(呼び径 12)



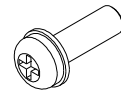
ねじ A (M5×15) ×13  
(予備 1 本含む)



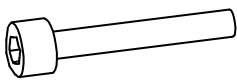
ねじ B (M6×15) ×6



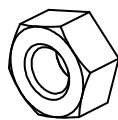
ねじ C (M4×10) ×4



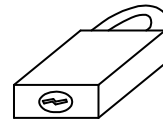
ねじ E (M6×65) ×2



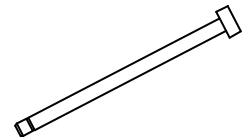
六角ナット A (M12) ×2  
六角ナット B (M6) ×2



南京錠(鍵付き)×1



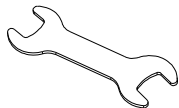
ヒンジピン×2



E 型止め輪×2



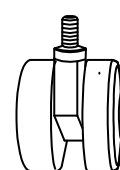
六角スパナ×1



キャスターストッパー付き×1

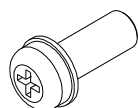


キャスターストッパーなし×1



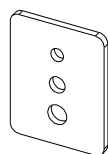
● ねじセット (ディスプレイ取付用)

ねじ 各4



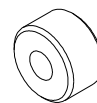
M6×20、M6×40、M8×25、M8×45

補助板 ×4



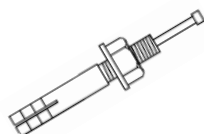
スペーサー ×4

(φ21×12 孔φ8)



● ねじセット (アンカー固定用)

おねじアンカーボルト ×5  
(M10×60)



コンクリートねじ ×1  
(4×25)

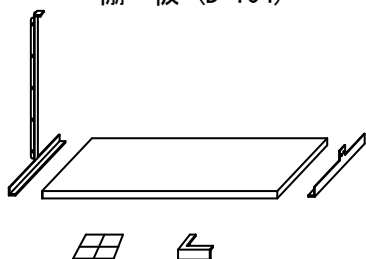


ねじキャップ×5

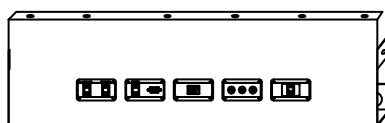


**オプション**

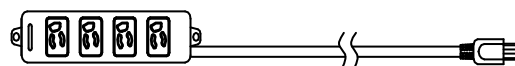
棚板 (D-T04)



コントロールパネル (D-P01)



4口電源タップマグネット付き (D-D01)



**別途ご用意いただくもの**

□プラスドライバー / □スパナ(10/19番) / □カートンケース、毛布等の平らなクッション材 / □手袋  
□六角レンチセット / □ハンマー / □電動ドリル / □アンカーボルト用工具  
□下穴用ドリル(φ10.5/φ3.4)

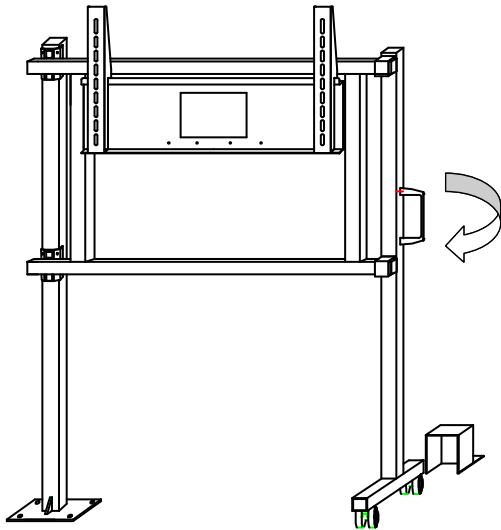
**ねじ締付トルクについて**

本体取付用ねじ		ディスプレイ取付用ねじ	
ねじ種類	締付トルク (N・m)	ねじ種類	締付トルク (N・m)
M4	1.4	M6	2.8
M5	2.0	M8	7.9
M6	3.0		

## 組立要領

〔はじめに〕 部品には取付箇所、取付方向がきまっていますので、  
図および説明文をよく確認の上、組み立ててください。

### 1. 右側回転取付方法



本製品は、使用環境に合わせて回転方向を左右どちらでも組み立てて使用できます。

向かって右側を回転させる場合は、この頁以降の手順で組み立ててください。

向かって左側を回転させる場合は、13頁以降の手順から組み立ててください。

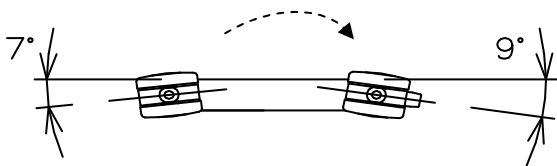
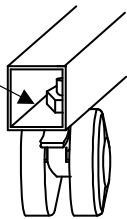


①～⑤までの組立は、床にカートンケースや毛布など柔らかいクッション材を敷き、製品を傷つけないよう注意して作業を行ってください。

#### ● ① キャスターの取り付け

※寝かせて作業

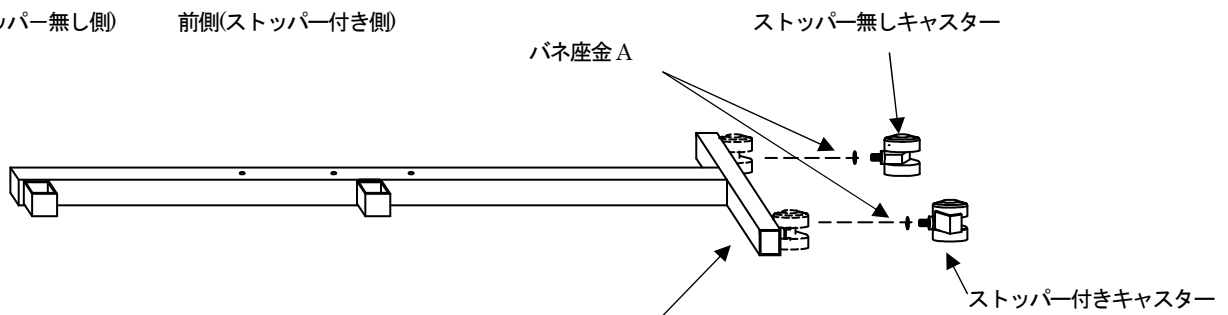
六角ナット A



後側(ストッパー無し側)

前側(ストッパー付き側)

1. ストッパー付きキャスターを脚の長い方に、バネ座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
2. ストッパー無しのキャスターを脚の短い方に、バネ座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
3. キャスターの角度を、回転方向に前側(ストッパー側)は、目安約 9°、後側(ストッパー無し側)は、目安約 7° (下図イメージ)とし、六角ナットを締め込み固定してください。

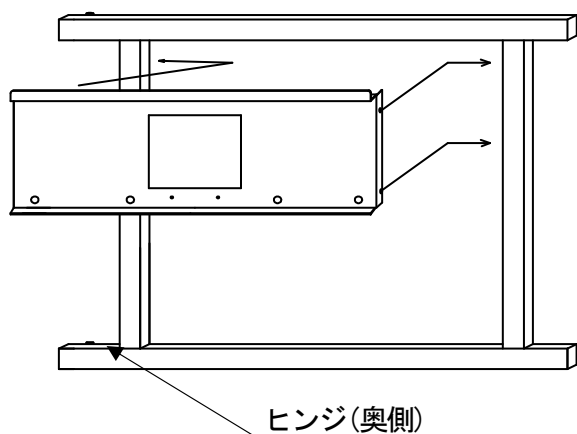


脚の長い方にストッパー付きキャスターを取り付けます。



## ● ② ブラケットの取り付け

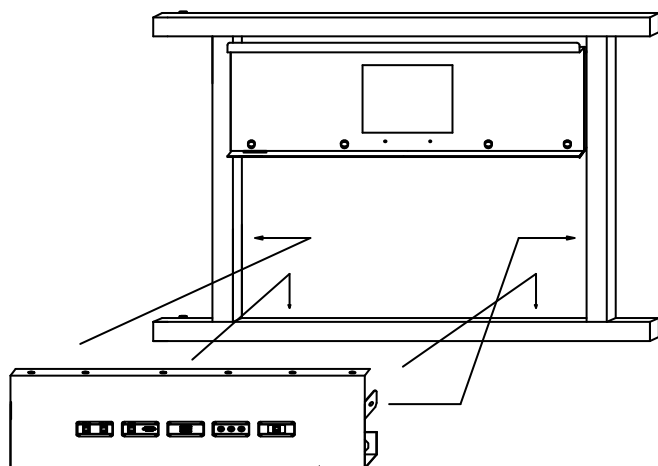
※寝かせて作業



1. 枠フレームを左奥にヒンジが位置するようにして、ブラケットをねじ A 4 本で取り付けます。
2. ブラケットを取り付ける位置は、最上段から 100mm ピッチで 3 段階まで取り付けることが出来ます。

## ● ③ インターフェイスパネルの取付(オプション)

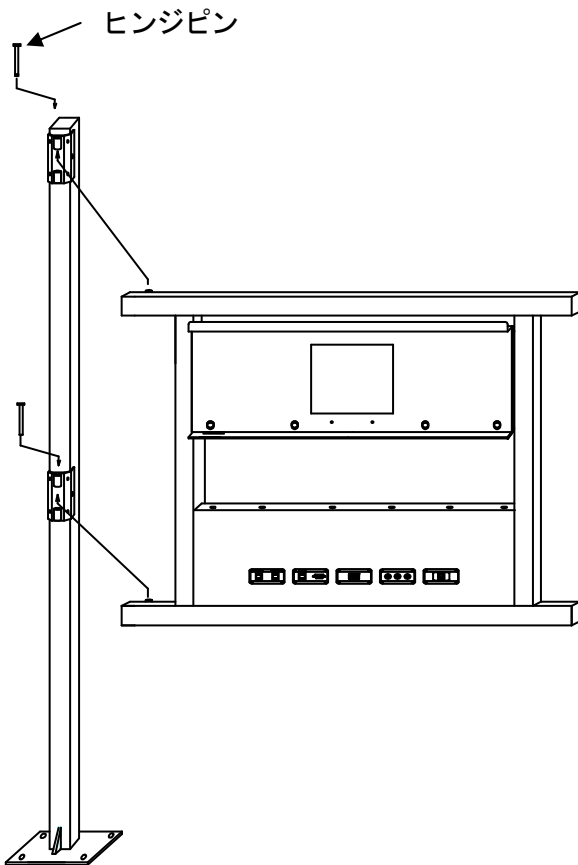
※寝かせて作業



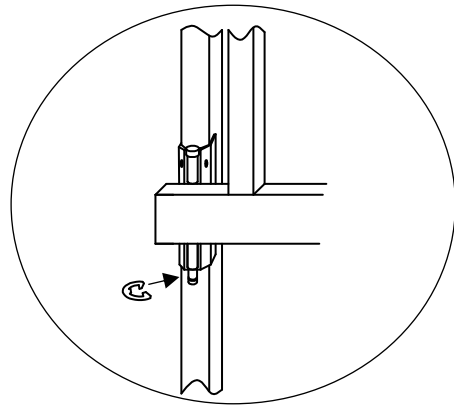
1. ②の位置関係のまま、インターフェイスパネルを枠フレームの最下段に、ねじ A4 本で取り付けます。

● ④ メインフレームに枠フレームを取り付ける

※寝かせて作業

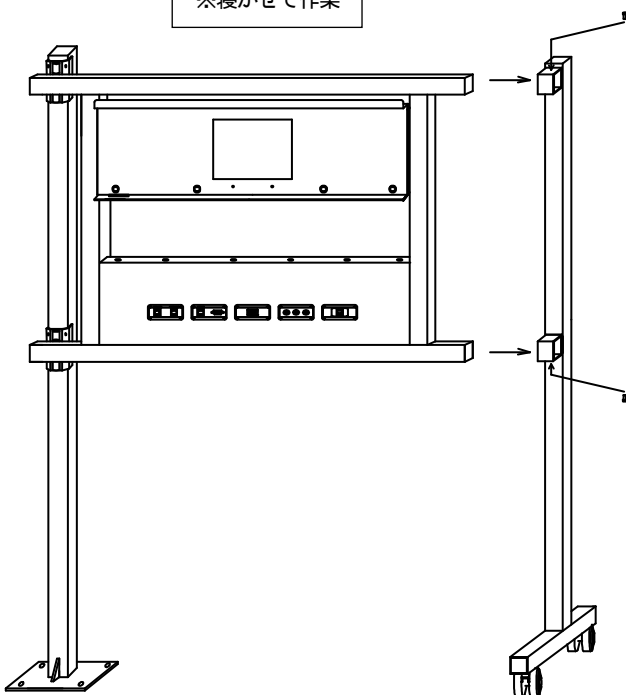


1. メインフレームをヒンジを上にして寝かせ、枠フレームをヒンジに合わせながら、乗せかけます。
2. ヒンジピンをハンマーで、軸がズレないように軽くたたき込みます。
3. ヒンジピンにE型止め輪2個を組み込みます。



● ⑤ 回転フレームに枠フレームを取り付ける

※寝かせて作業



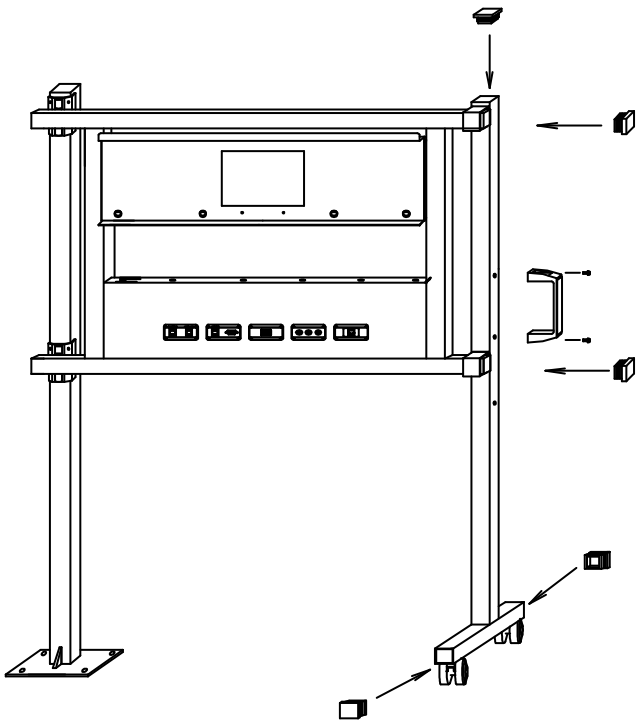
1. 回転フレームを脚の長い方を上にして寝かせ、枠フレームを、回転フレームの四角金具に差し込みます。
2. 回転フレームの四角金具に、上下からねじB4本で固定します。

※前後を間違わないよう注意してください。

## ● ⑥ ハンドル・樹脂キャップを取り付ける



これ以降は製品を立ち上げて、組み立てます。  
アンカー固定するまでは、転倒などしないよう十分注意して作業してください。

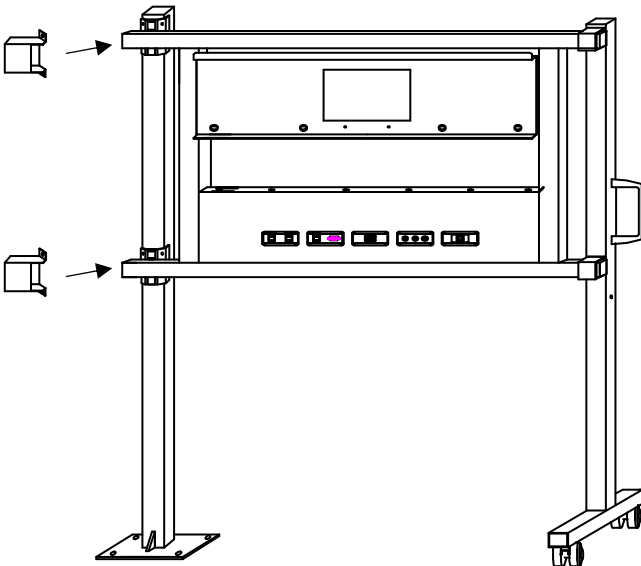


1. ハンドルをねじ A2 本で取り付けます。
2. ハンドルの固定位置は 2 カ所あり、ディスプレイの取付状態により、上側か下側か決めてください。

※ディスプレイ取り付け後でも、位置を変更できます。

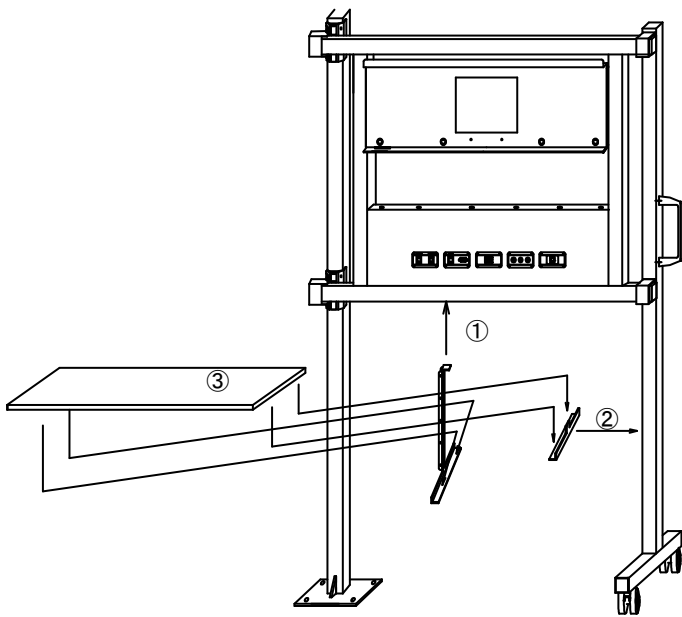
3. 樹脂キャップをハンマーで当て布などして軽くたたき込みます。

## ● ⑦ 指詰め防止カバーを取り付ける

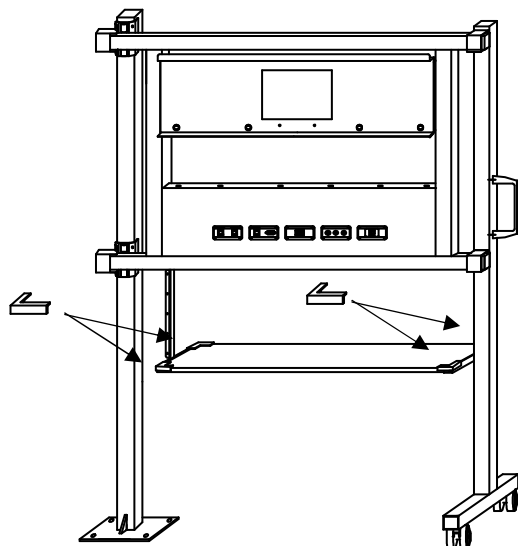


1. ヒンジ部に図のように指詰め防止カバーを 2 カ所、ねじ A6 本で取り付けます。

● ⑧ 棚板の取り付け(オプション)



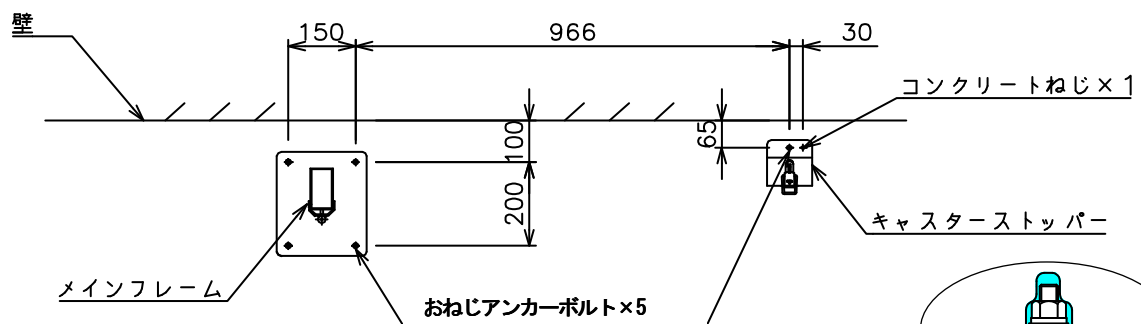
1. 金具(大)を枠フレームの図の位置にねじA2本で固定します。
2. 金具(小)を回転フレームの図の位置にねじA2本で固定します。
3. 棚板を、金具(大)と金具(小)に乗せます。
4. 下方向から、ねじC2本で固定します。



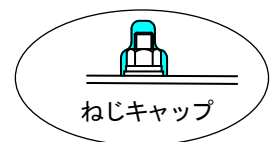
5. コーナー保護クッションに両面テープを貼り付け、4隅に貼り付けます。

● ⑨ アンカー止め

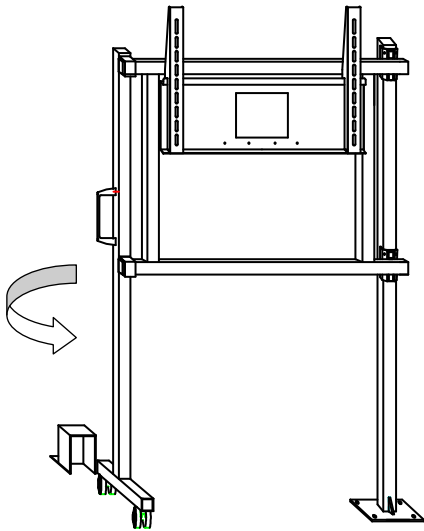
1. メインフレームとキャスターストッパーを固定するため、アンカーとコンクリートねじの下穴を下図に従い5カ所あけます。(アンカー： $\phi 10.5 \times$  深さ40、コンクリートねじ： $\phi 3.4 \times 30$ )
2. 壁からの穴までの距離は、参考値です。壁から設置する最適な位置を決め、穴をあけて、アンカーを打ち込みます。
3. 本体を穴位置に合わせてアンカー用六角ナットとコンクリートねじで固定します。
4. アンカーボルトにねじキャップを被せます。



アンカー取付寸法



## 2. 左側回転取付方法



本製品は、使用環境に合わせて回転方向を左右どちらでも組み立てて使用できます。

向かって左側を回転させる場合は、この頁以降の手順で組み立ててください。

向かって右側を回転させる場合は、8頁以降の手順から組み立ててください。

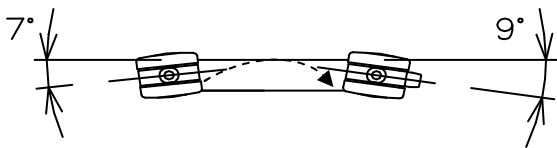
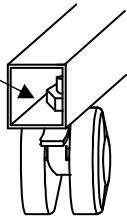


①～⑤までの組立は、床にカートンケースや毛布など柔らかいクッション材を敷き、製品を傷つけないよう注意して作業を行ってください。

### ● ① キャスターの取り付け

※寝かせて作業

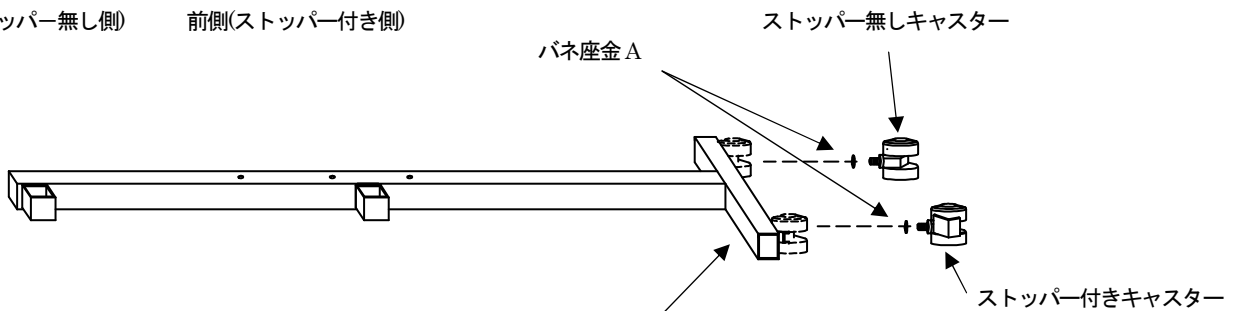
六角ナット A



後側(ストッパー無し側)

前側(ストッパー付き側)

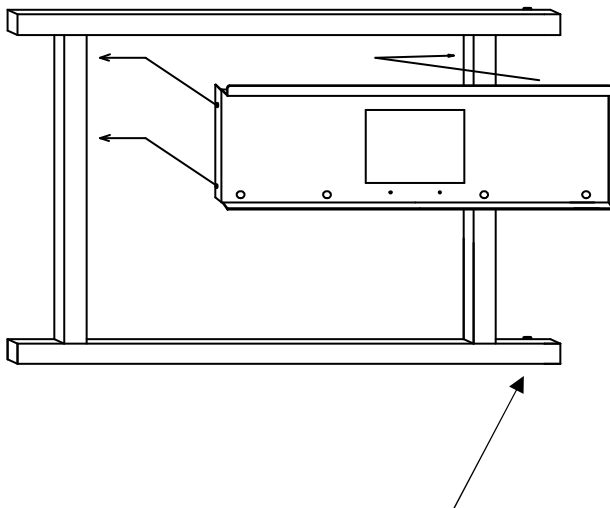
1. ストッパー付きキャスターを脚の長い方に、バネ座金 A とセットで、脚内部に六角ナットを取り付けます。
2. ストッパー無しのキャスターを脚の短い方に、バネ座金 A とセットで、脚内部に六角ナット A を取り付けます。
3. キャスターの角度を、回転方向に前側(ストッパー側)は、目安約  $9^\circ$ 、後側(ストッパー無し側)は、目安約  $7^\circ$  (下図イメージ)とし、六角ナット A を締め込み固定してください。



脚の長い方にストッパー付きキャスターを取り付けます。

## ● ② ブラケットの取り付け

※寝かせて作業

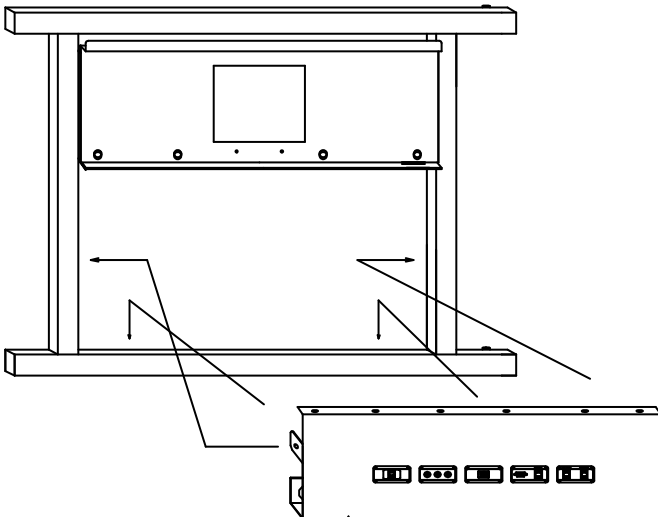


ヒンジ(奥側)

1. 枠フレームを右奥にヒンジが位置するようにして、ブラケットをねじA 4本で取り付けます。
2. ブラケットを取り付ける位置は、最上段から100mm ピッチで3段階まで取り付けることができます。

## ● ③ インターフェイスパネルの取付(オプション)

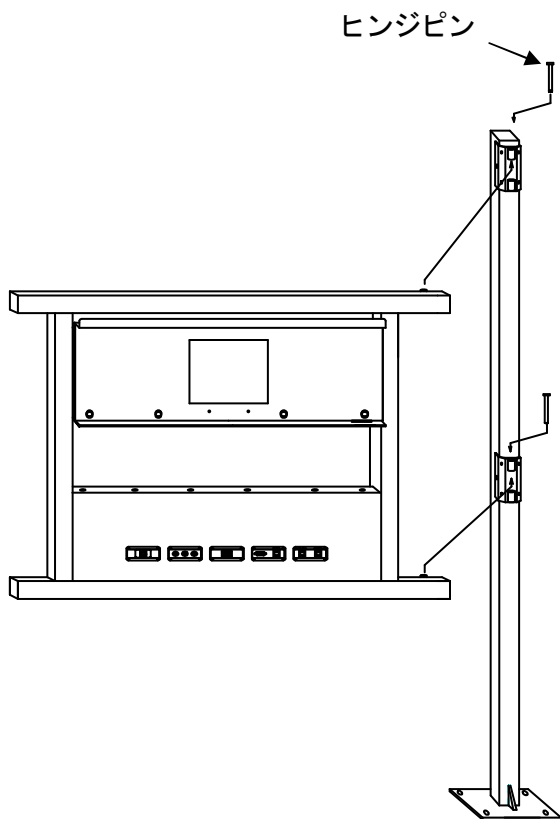
※寝かせて作業



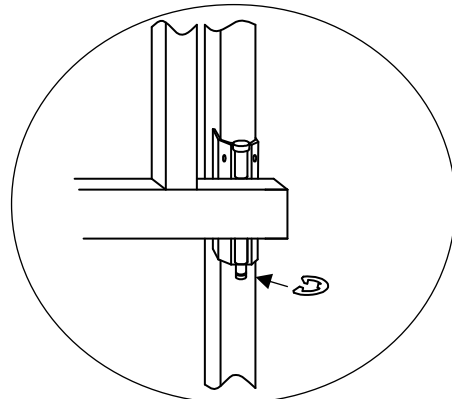
1. ②の位置関係のまま、インターフェイスパネルを枠フレームの最下段に、ねじA4本で取り付けます。

#### ● ④ メインフレームに枠フレームを取り付ける

※寝かせて作業

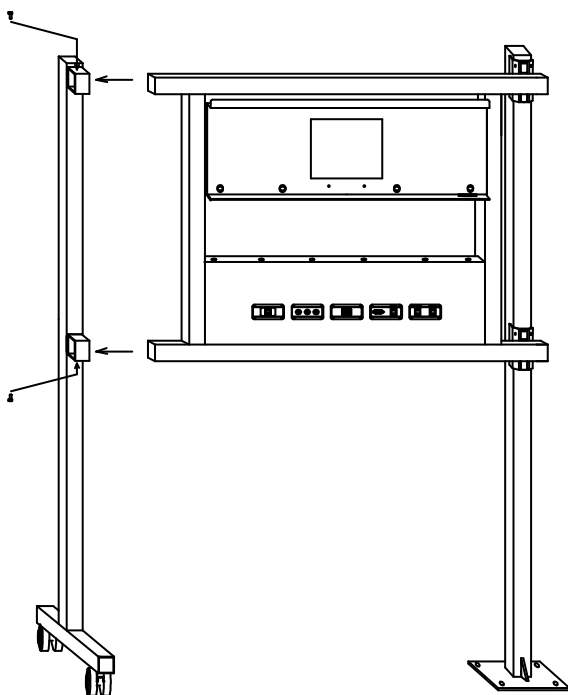


1. メインフレームをヒンジを上にして寝かせ、枠フレームをヒンジに合わせて、乗せかけます。
2. ヒンジピンをハンマーで、軸がズレないように軽くたたき込みます。
3. ヒンジピンにE型止め輪2個を組み込みます。



#### ● ⑤ 回転フレームに枠フレームを取り付ける

※寝かせて作業



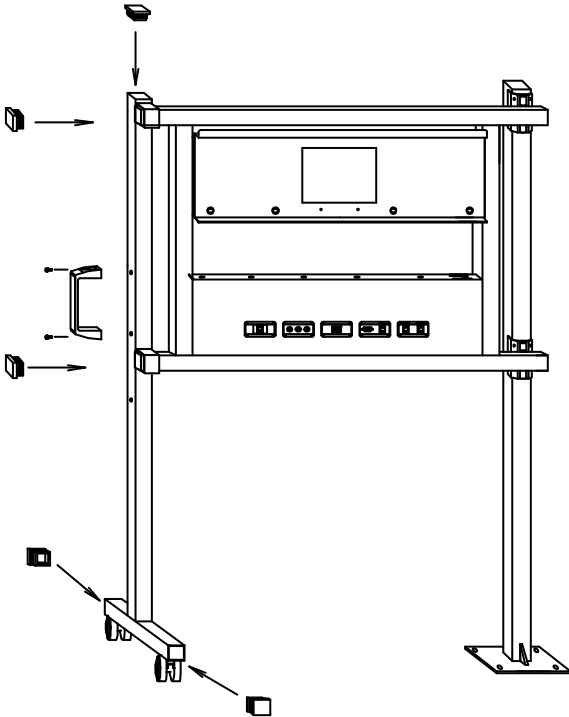
1. 回転フレームを脚の長い方を上にして寝かせ、枠フレームを、回転フレームの四角金具に差し込みます。
2. 回転フレームの四角金具に、上下からねじB4本で固定します。

※前後を間違わないよう注意してください。

● ⑥ ハンドル・樹脂キャップを取り付ける



これ以降は製品を立ち上げて、組み立てます。  
アンカー固定するまでは、転倒などしないよう十分注意して作業してください。

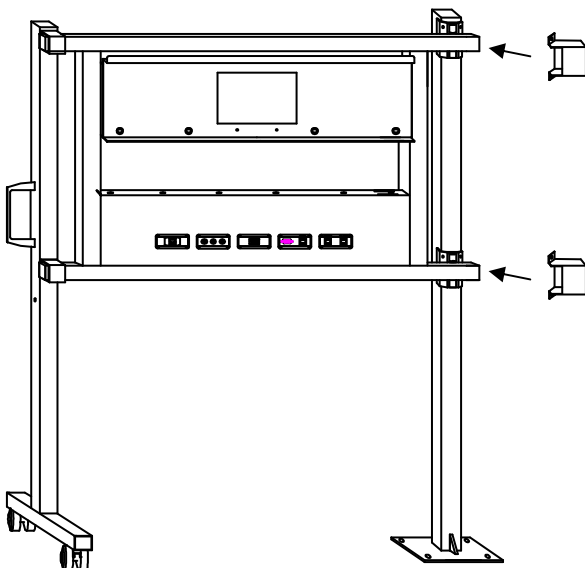


1. ハンドルをねじ A2 本で取り付けます。
2. ハンドルの固定位置は 2 カ所あり、ディスプレイの取付状態により、上側か下側か決めてください。

※ディスプレイ取り付け後も、位置を変更できません。

3. 樹脂キャップをハンマーで当て布などして軽くたたき込みます。

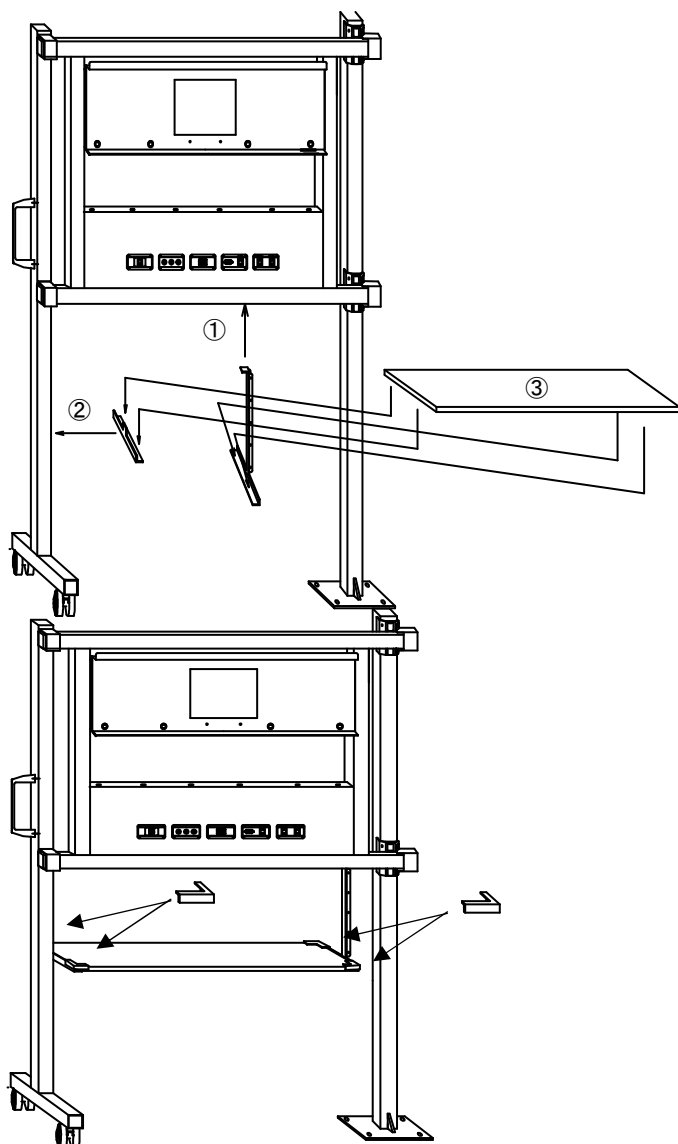
● ⑦指詰め防止カバーを取り付ける



1. ヒンジ部に図のように指詰め防止カバーを 2 カ所、ねじ A6 本で取り付けます。



● ⑧ 棚板の取り付け(オプション)

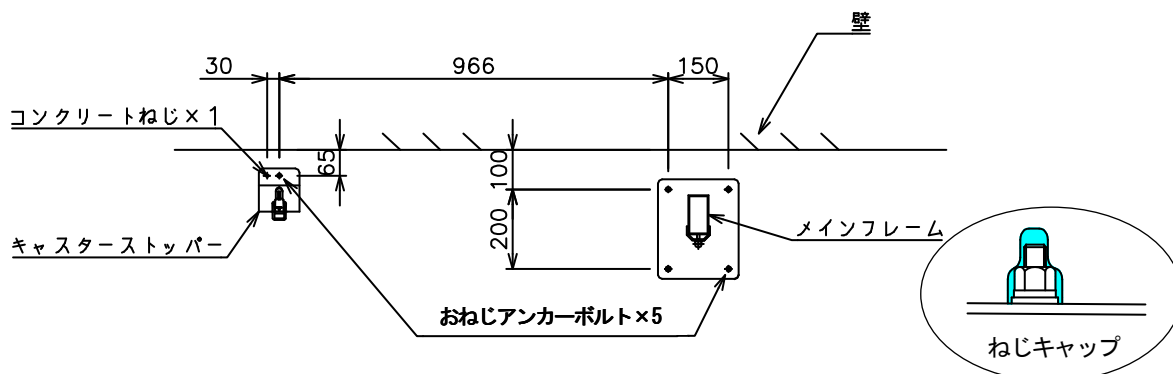


1. 金具(大)を枠フレームの図の位置にねじ A2 本で固定します。
2. 金具(小)を回転フレームの図の位置にねじ A2 本で固定します。
3. 棚板を、金具(大)と金具(小)に乗せます。
4. 下方向から、ねじ C2 本で固定します。

5. コーナー保護クッションに両面テープを貼り付け、4 隅に貼り付けます。

● ⑨ アンカー止め

1. メインフレームとキャスターストッパーを固定するため、アンカーとコンクリートねじの下穴を下图に従い5カ所あけます。(アンカー： $\phi 10.5 \times$  深さ 40、コンクリートねじ： $\phi 3.4 \times 30$ )
2. 壁からの穴までの距離は、参考値です。壁から設置する最適な位置を決め、穴をあけて、アンカーを打ち込みます。
3. 本体を穴位置に合わせてアンカー用六角ナットとコンクリートねじで固定します。
4. アンカーボルトにねじキャップを被せます。



アンカー 取付寸法

### 3. 共通取付方法

- ⑩ ディスプレイ取付金具の取り付け  
ディスプレイ取付金具の取り付けの前にご確認ください。

#### ⚠ 注意

- ディスプレイ付属のスタンドが付いている場合は取り外してください。取り外し方法についてはディスプレイ取扱説明書をご参照ください。
- ディスプレイによってはキャップが付いている場合がありますのでディスプレイ取扱説明書に従って取り外してください。
- 搭載するディスプレイ機種によっては、ディスプレイを水平に寝かせてディスプレイ取付金具を取り付けできません。ディスプレイの取扱説明書にて必ずご確認ください。その際はディスプレイを垂直にしたまま組み立てをしてください。
- ディスプレイを取り付ける前に、ディスプレイ端子部が本製品と重ならないか御確認ください。重なっていると、配線が困難になりディスプレイのご使用ができなくなります。

1. カートンケース、毛布等の平らなクッション材の上にディスプレイ背面を表にして寝かせます。
2. 図1のように、ねじセットからディスプレイにあったねじで固定します。M6以下のねじの場合、付属の補助板を使用してください。

※ディスプレイ外形センターとディスプレイ画面センターは異なる場合があります。ディスプレイ設置の際は、ディスプレイ画面センター位置をご確認ください。

※ディスプレイによってはねじ部が凹んでいたり周辺形状により取付金具が取り付けられない場合は、付属のスペーサー(φ21×12 孔φ8)をディスプレイと取付金具の間に挟み込んで使用してください。

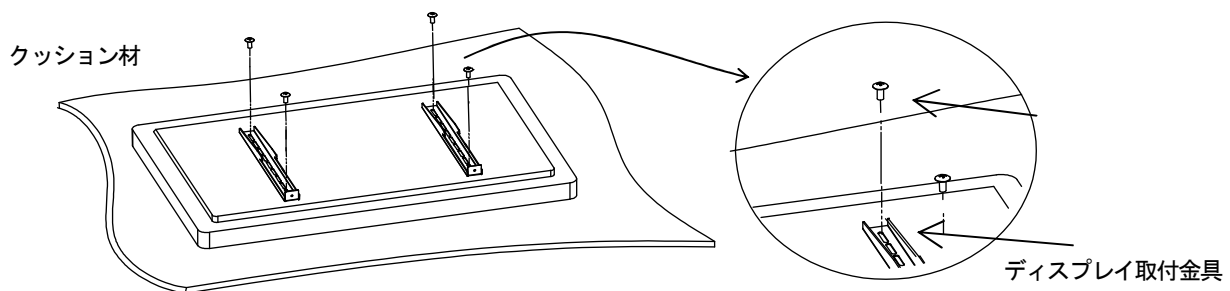
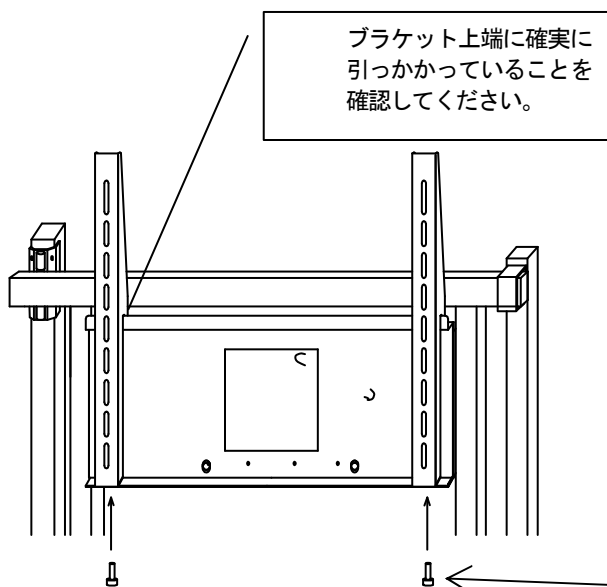


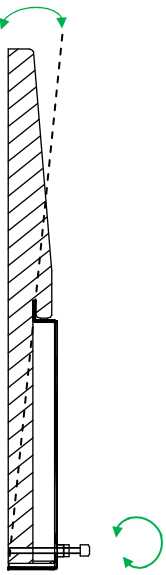
図1



1. ディスプレイ取付金具を取り付けたディスプレイを二人以上の作業員で支え、ブラケット上端にディスプレイ取付金具の溝を引っ掛けるようにして設置します。
2. ブラケット下側からディスプレイ取付金具をプラスドライバーを使用し、ねじB本にて固定します。

⚠ 固定の際はディスプレイの下にもぐりこまないようにしてください。

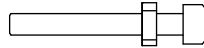
● ⑪ ディスプレイ角度調整



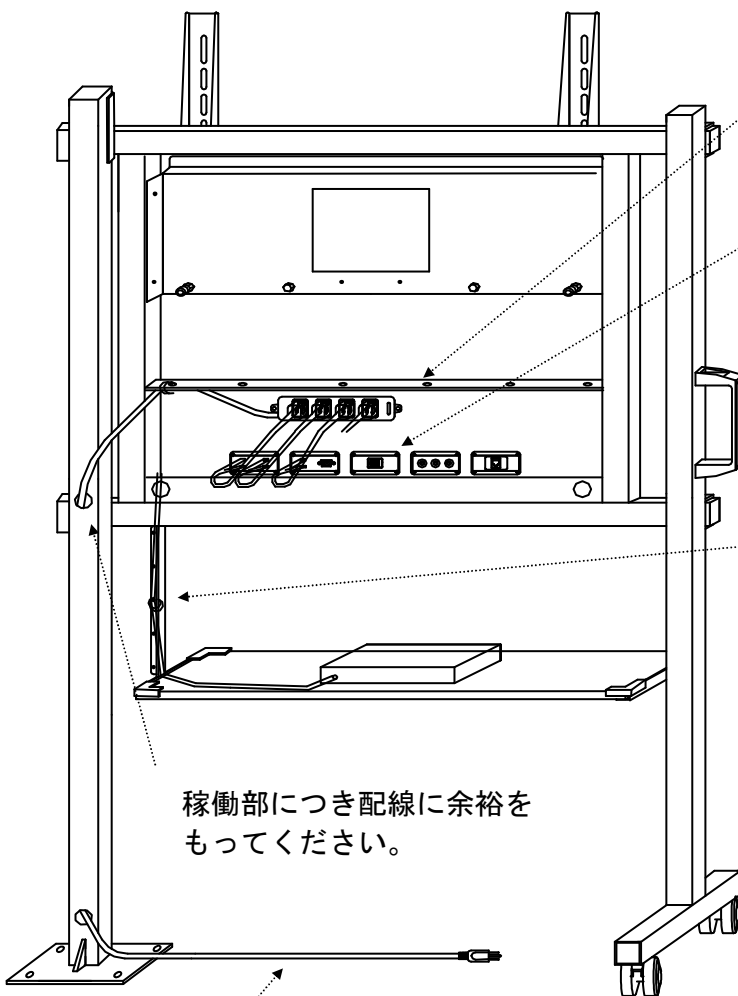
1. ディスプレイ取付金具の位置に合ったブラケットのネジ穴に、図のようにネジDと六角ナットをセットします。
2. ネジDを時計回りに締め込むと取付金具が上向きに角度が調整出来ます。
3. 角度を調整したら、六角ナットBをしっかり締め込んでください。

六角ナットB

ネジE



● ⑫ 配線処理例



ケーブル類は固定用穴を使って固定します。

コントロールパネル（オプション）付属の各ケーブルを接続します。  
電源コード3本は、4口電源タップマグネット付き（オプション）に差し込みます。残りの1口にディスプレイ電源コードを差し込みます。

棚板（オプション）の機器類からのケーブルは、金具の穴を使って固定します。

稼働部につき配線に余裕をもってください。

4口電源タップマグネット付き（オプション）の電源コードは、メインフレーム内を通します。

## ● ⑬ 施錠

いたずら防止のため、キャストストッパーと回転フレームを南京錠で施錠し、回転しないようにできます。



### 保証書

品名 **壁寄せディスプレイスタンド**

お客様名： \_\_\_\_\_ お取扱店： \_\_\_\_\_  
ご購入年月日： \_\_\_\_\_ 住所 / TEL： \_\_\_\_\_

**保証期間**

ご購入の日より

本体

**1 年**

1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
  - (1) この保証書のご提示がない場合。
  - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
  - (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
  - (5) 火災や天災等による故障および損傷。
- (6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちに買い上げ取扱店にお申し出ください。
  - ※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店または下記コンタクトセンターまでお問い合わせください。

**株式会社オーエス**  
**株式会社オーエスプラス<sup>e</sup>**  
コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL:0120-380-495 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~18:00 ※土日祝日を除く)

E-mail:info@os-worldwide.com

※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。

TEL:03-3629-5211 FAX:03-3629-5214